

3 警報・注意報・警戒レベル・Jアラートについて知ろう

様々な警報やJアラートについて知っていることを発表しよう。

○ 大雨の場合

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

出典:内閣府(防災担当)

国の防災情報を5段階のレベルに分ける取り組みのうち、特別警報は最も高い「レベル5」とされています。

この前に4つの段階があります。レベル1とレベル2。数日以内に大雨が予想される段階や大雨の注意報が出される段階です。

レベル3。大雨の「警報」が出されます。自治体の「避難情報」もこの段階で出され、「高齢者等は避難」が必要だとされます。

レベル4。土砂災害の危険性が非常に高くなり、「土砂災害警戒情報」が発表されます。各市町村はこうした情報が出た段階で、「避難指示」を発令します。

注意が必要なのは「レベル5」、つまり特別警報の発表される段階は、すでに災害が発生している状況であるとされていること。つまり、警報などの情報が発表された「レベル3」や「レベル4」の段階から早めに安全な場所に避難しておくことが身を守る上で最も重要なのです。

(過去の特別警報発表)

平成27年9月11日大雨特別警報(東北豪雨)、令和元年10月12日大雨特別警報(台風19号)

○Jアラートについて

津波や地震をはじめとする大規模自然災害や、テロ等武力攻撃の発生など、命に関わる緊急事態の場合に鳴ります。

※ Jアラートの音が鳴ったら（弾道ミサイル飛来の際の対応）

【屋外にいる場合】

- ・ 近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する。
- ・ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。



【屋内にいる場合】

- ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

Jアラートの実際の音
「国民保護サイレン音」を
聞いてみよう。

総務省消防庁



学習の振り返り